

# Oyama

2026年6月30日  
町田市立小山小学校  
校長 三瓶 昌信

町田市小山町944番地  
TEL 797-2733

<http://www.machida-ky.ed.jp/e-oyama/>

## 宿題(家庭学習)＝「約束」

校長 三瓶 昌信

1学期も残すところ20日足らずとなりました。「授業参観・保護者会」にはご多用中にもかかわらず、大勢ご参加いただきありがとうございます。学校の様子、夏休みの課題等についてお伝えしました。

さて、夏休みに限らず、学期中も毎日「宿題」が出されています。この宿題について、私には忘れられない思い出があります。

20代で5年担任の時です。ある男の子に、「先生、宿題忘れに甘すぎるよ!」と叱られてしまいました。「寝る前に宿題を思い出し、お母さんに叱られながらもやってきたんだよ。だって宿題って『約束』でしょ。約束なのに…だったら俺もやってこなきゃよかった」と。

強烈な一言でした。私自身は甘やかしていたつもりはなかったのですが、確かに「仕方ないなあ、明日までやって来いよ」のような対応でした。その子の言葉、その場面が今でも忘れられません。それ以来、宿題を忘れた子には、休み時間や放課後を使って、その日にうちに提出させるようにしました。同時に、「約束」を守って宿題をやってきた子供たちの努力を大切にしたいと考えようにもなりました。

もちろん、やってこなかった子の声にも耳を傾けるようにしました。体調が優れなかったり、家庭の事情があったりする場合もあります。そのような事情への配慮は必要です。しかし、多くの場合は「やらなかった」ではないでしょうか。子供たちは「忘れました」と表現しますが、本当に「忘れた」というケースはそれほど多くはないでしょう。

私は、小学校段階での宿題(家庭学習)の必要性、意義は大きいと考えています。「勉強は学校で」と言われますが、学習の反復や定着には家庭学習が必要です。中学生以上は徐々に「自学」に進んでいきます。

現在はドリルソフト Qubena の活用がほとんどです。個々の進度等については担任が把握できます。保護者からは「タブレットなので、やっているかどうかわかりにくい」という声をいただいておりますが、今後は、保護者もスマホ等で確認できる仕組みが導入される予定です。

高機能な学習教材であり、学年に応じた様々な教科の学習ができます。間違えた問題や苦手な問題を分析し、一人一人に応じた学習ができます。教室で活用するときも、全員が同じ問題を同じ進度で学習しているわけではありません。ぜひ一度、お子さんが取り組んでいる様子をご覧ください。

保護者の皆様には、宿題について引き続きご協力をお願いします。「もう〇年生だから一人で大丈夫」ではなく、学年にかかわらずお声かけください。

また近年は、「宿題をやらなかったので欠席します」「うちの子、宿題を忘れてしまいました。ごめんなさい。叱らないでください」…等の tetoru や連絡帳をいただくこともあります。宿題は子供たちが自分の責任で取り組むべき学習活動の一つです。失敗や反省も含めて学びの機会です。

でも、何よりも大切なのは、授業の充実です。子供たちが前のめりになる授業を行っていくのが学校の責任です。一方的に教師が教え込む授業ではなく、一人一人が自分の考えや意見をもち、仲間とともに学びを深めていく授業を目指していきます。